

### 第3章 自分自身や自分の国について

#### 1 自分自身について

日本の高校生は、「今の自分が好きだ」「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」の肯定率（「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合、以下同様）が低く、「自分はダメな人間だと思うことがある」の肯定率が高い。

また、「将来への希望を持っている」の肯定率が米中韓と比べて低い。

自分自身についての意識を把握するために、「物事に積極的に取り組むほうだ」「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」「将来への希望を持っている」といった自分の性格や自己肯定感、将来に対する考え方などに関する項目を挙げ、「よくあてはまる」「まああてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の4段階で尋ねた。

性格に対する自己評価をみると、日本の高校生は、「新しいことに挑戦するのが好きだ」「言われなくても自分から進んで勉強する」「初めて会った人とでもすぐに話ができる」「人前でもはっきり自分の意見を言えるほうだ」の肯定率がいずれも4か国中最も低い。米国の高校生は、「私は他人と違うことをするのが好きだ」の肯定率が8割を超え、日中韓に差をつけて高かった。中国の高校生は、「物事に積極的に取り組むほうだ」「新しいことに挑戦するのが好きだ」「言われなくても自分から進んで勉強する」「人前でもはっきり自分の意見を言えるほうだ」といった積極性を示す項目の肯定率がいずれも4か国中最も高い。韓国の高校生は、「物事に積極的に取り組むほうだ」「人前でもはっきり自分の意見を言えるほうだ」の肯定率が中国に次いで高く、「私は他人と違うことをするのが好きだ」が米国に次いで高い（図3-1）。

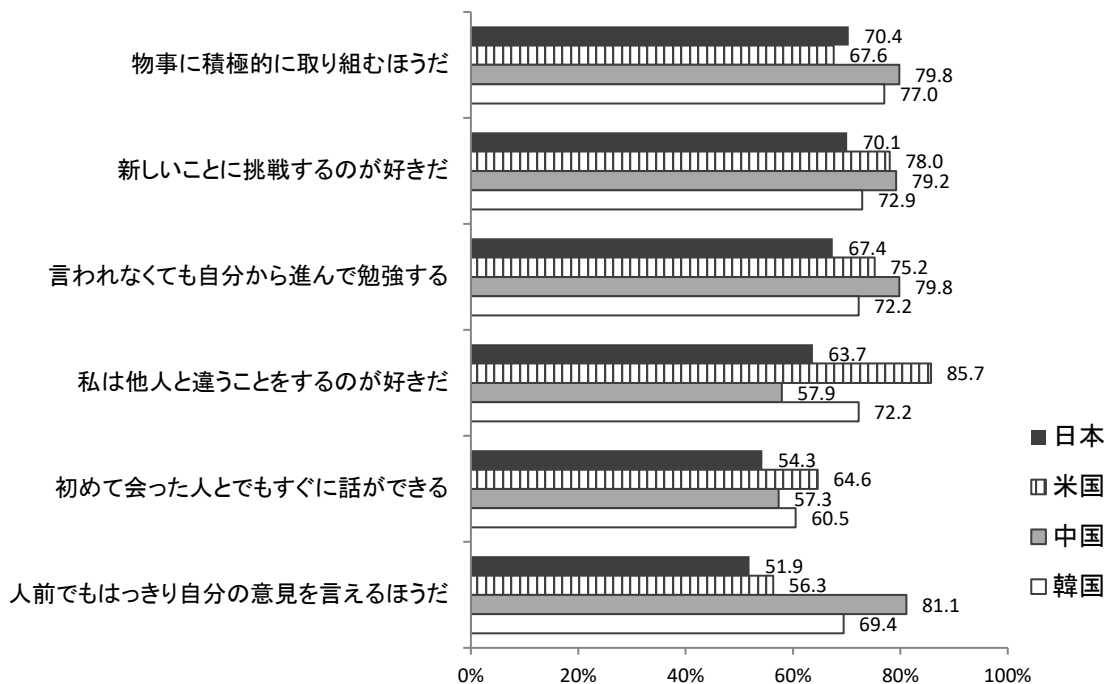


図3-1 性格についての自己評価（「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合）

自己肯定感に関連する7項目では、日本の高校生は、「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」「今の自分が好きだ」に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合がいずれも約5割にとどまり、米中韓に比べて際立って低い。一方、「自分はダメな人間だと思うことがある」の肯定率が8割を超え、米中韓に比べて著しく高い。

米国の高校生は、「得意なことをもっている」「打ち込みたいことがある」「今の自分が好きだ」に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合がいずれも8割を超え、4か国中最も高い。一方、「今の自分を変えたい」の肯定率が日中韓を大きく下回った。中国の高校生は、「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」の肯定率が9割を超え、4か国中最も高く、「自分はダメな人間だと思うことがある」の肯定率が4割で日米韓と比べて低く、自己肯定感が高いことがうかがえる。また、「今の生活環境を変えたい」の肯定率は7割を超え、4か国中最も高く、「今の自分を変えたい」の肯定率も9割弱と韓国に次いで高い。韓国の高校生は、「今の自分を変えたい」の肯定率が4か国中最も高く、「得意なことをもっている」の肯定率が4か国中最も低い(図3-2)。

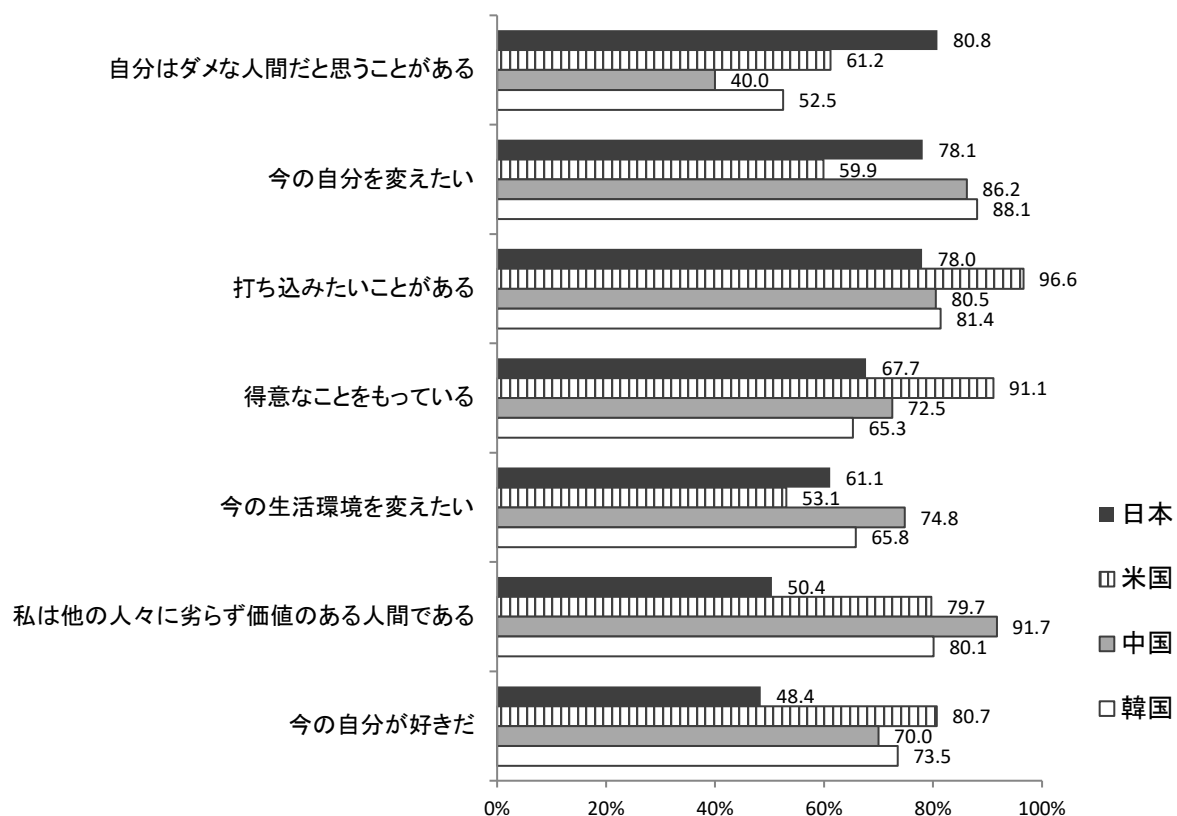


図 3-2 自己肯定感(「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合)

将来に対する考え方について、日本の高校生は、「自分の将来に不安を感じている」の肯定率が7割を超え、4か国中最も高い。一方、「将来、働きたい職業分野で専門職として活躍したい」「将来への希望を持っている」の肯定率がいずれも6割台にとどまり、米中韓より低い。

米国の高校生は将来に対して積極的な姿勢を示している。「将来、働きたい職業分野で専門職として活躍したい」「将来への希望を持っている」「将来、何になりたいかを決めている」の肯定率

がいずれも4か国中最も高い。中国の高校生は、「将来、何になりたいかを決めている」の肯定率が6割未満で4か国中最も低いが、「自分の将来に不安を感じている」の肯定率も日米韓を大きく下回っている。韓国の高校生は「将来、働きたい職業分野で専門職として活躍したい」の肯定率が9割を超え、米国に次いで高く、「自分の将来に不安を感じている」の肯定率も7割を超え、日本に次いで高い（図3-3）。

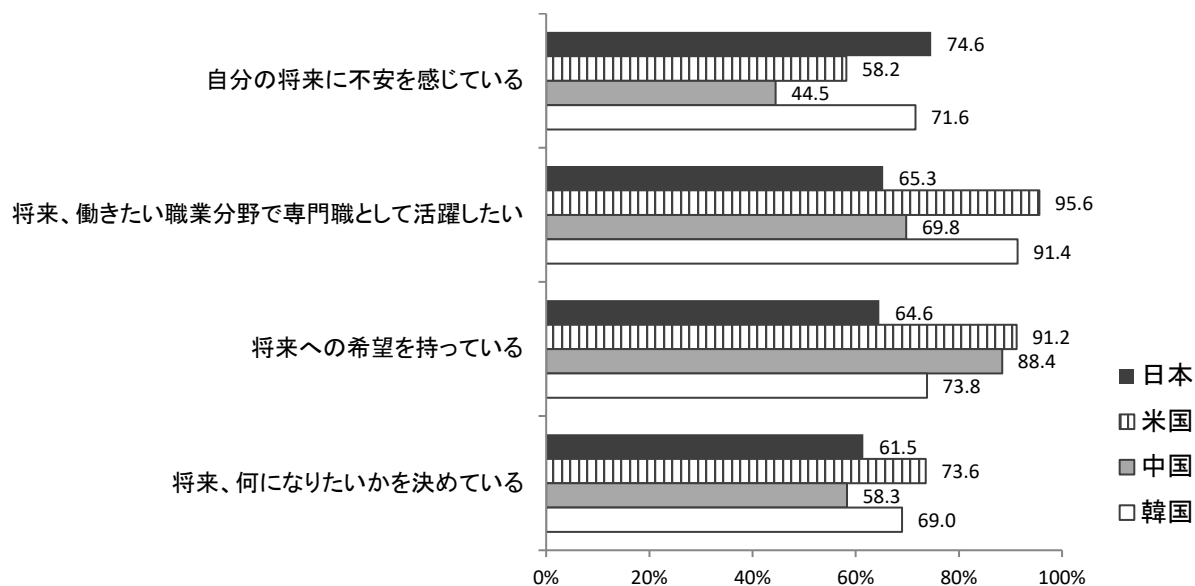


図3-3 将来に対する考え方（「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合）

また、将来の生き方について、「周囲の人たちと協調して、人の和を大切にするような生き方をしたい」と回答した割合が最も高いのは日本で、41.8%となっている。「自分の趣味や個性を大切にしたい」と回答した割合が高いのは韓国で、52.4%と、日米中を大きく上回っている。「自分から進んで物事を考え、社会のリーダーになるような生き方をしたい」の割合が最も高いのは中国で、22.2%となっている（図3-4）。

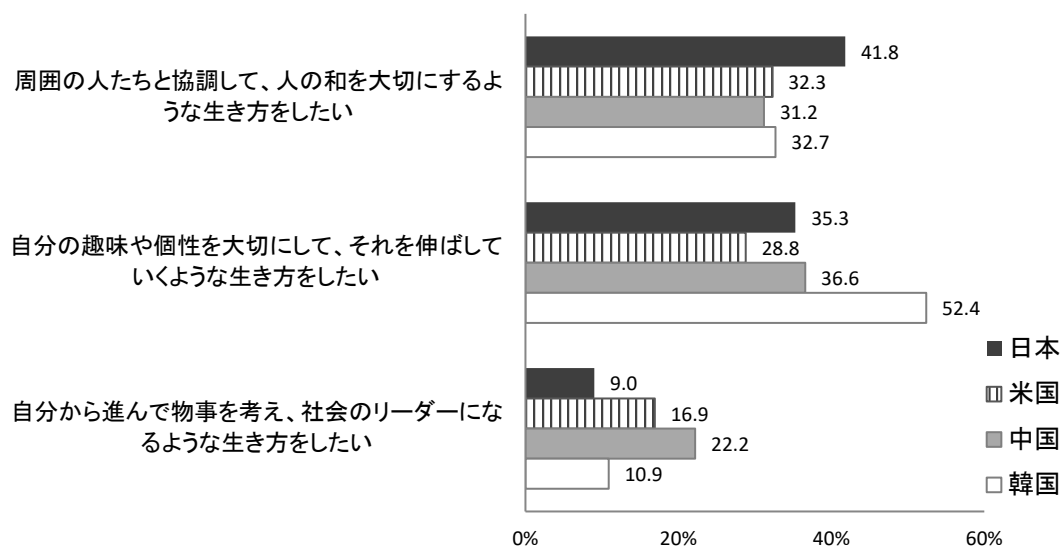


図3-4 将来、どのような生き方をしたいと思いますか

## 2 留学希望の有無と自己特性

留学希望の有無と自己特性の関係をみるために、「留学したいと思わない」を留学希望「なし」とし、「高校在学中に留学したい」「高校を卒業したら、すぐに留学したい」「大学在学中に、留学したい」「大学卒業後、留学したい」を留学希望「あり」として、自分の性格や自己肯定感、将来に対する考え方に関する項目をクロス集計した。

4か国とも留学希望のある者のほうが、「今の自分を変えたい」「今の生活環境を変えたい」に対し、「よくあてはまる」と回答した割合が高く、特に日中韓ではその差が顕著である（図 3-5～6）。

また、自分の性格に関する項目について、日中韓の3か国では、留学希望のある者のほうが、「物事に積極的に取り組むほうだ」「新しいことに挑戦するのが好きだ」「私は他人と違うことをするのが好きだ」「人前でもはっきり自分の意見を言えるほうだ」「初めて会った人とでもすぐに話ができる」に対し、いずれも高い肯定率を示している（表 3-1）。

自己肯定感に関する項目について、日中韓の3か国では、留学希望のある者のほうが、「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」「得意なことを持っている」「打ち込みたいことがある」に対し、「よくあてはまる」と回答した割合が高いが、「自分はダメな人間だと思うことがある」については、あまり差がみられなかった（表 3-2）。

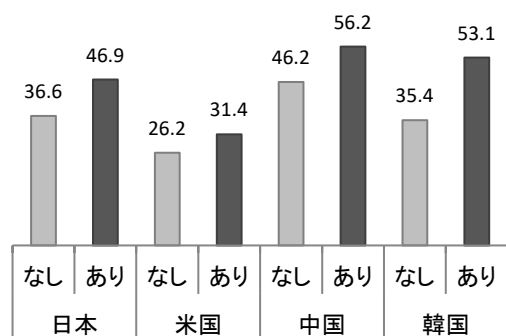


図 3-5 留学希望の有無×「今の自分を変えたい」  
（「よくあてはまる」と回答した割合）

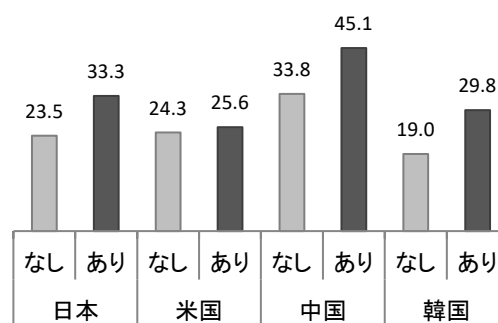


図 3-6 留学希望の有無×「今の生活環境を変えたい」  
（「よくあてはまる」と回答した割合）

表 3-1 留学希望の有無と自分の性格について（「よくあてはまる」と回答した者の割合）

性格の自己評価	留学希望の有無		日本		米国		中国		韓国	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
・物事に積極的に取り組むほうだ	17.3	24.0	13.9	14.9	25.5	28.9	16.9	22.6		
・新しいことに挑戦するのが好きだ	20.6	34.4	23.4	28.4	31.0	38.1	19.0	27.9		
・人前でもはっきり自分の意見を言えるほうだ	13.0	18.4	19.6	20.7	28.0	34.8	17.2	29.5		
・私は他人と違うことをするのが好きだ	17.4	28.5	36.9	35.6	19.8	24.6	17.4	24.2		
・初めて会った人とでもすぐに話ができる	14.0	24.1	25.1	30.1	21.9	22.8	15.9	24.3		

表 3-2 留学希望の有無と自己肯定感(「よくあてはまる」と回答した者の割合)

留学希望の有無 自己肯定感	日本		米国		中国		韓国	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
・私は他の人々に劣らず価値のある人間である	7.6	16.9	45.6	46.8	47.4	53.7	23.8	38.6
・自分はダメな人間だと思ふことがある	31.4	36.1	26.3	25.2	13.8	13.3	10.8	11.4
・得意なことをもっている	23.9	30.8	66.2	64.1	33.9	38.9	23.1	28.4
・打ち込みたいことがある	37.3	47.4	77.6	77.3	42.6	49.9	34.1	46.7

将来への考え方においては、日中韓では、留学希望のある者のほうが、「将来への希望を持っている」「将来、働きたい職業分野で専門職として活躍したい」の肯定率が高い(表 3-3)。

表 3-3 留学希望の有無と将来に対する考え方(「よくあてはまる」と回答した者の割合)

留学希望の有無 将来への考え方	日本		米国		中国		韓国	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
・将来、何になりたいかを決めている	29.6	33.8	44.2	38.8	21.4	26.9	24.1	35.7
・将来への希望を持っている	17.2	27.3	63.1	66.3	43.4	51.1	32.8	41.9
・将来、働きたい職業分野で専門職として活躍したい	27.0	35.0	70.7	77.8	28.2	41.0	48.5	65.6

### 3 自分の国に対する意識

日本の高校生の9割以上が、「日本で暮らすことに満足している」「自分の国が好きだ」と回答した。一方、「私は国のために尽くしたい」の肯定率は5割未満で、4か国中最も低い。

自分と国との関わりについて見てみると、日本の高校生は、「国の発展は自分の発展につながっている」「私は国のために尽くしたい」に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合が、4か国中最も低いが、「日本で暮らすことに満足している」「自分の国が好きだ」に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合は高く、9割を超える。韓国の高校生は、「自分が韓国人であることに誇りをもっている」「韓国で暮らすことに満足している」「自分の国が好きだ」に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合が、いずれも4か国中最も低い。これに対し、中国の高校生は5項目とも「よくあてはまる」と回答した割合が飛び抜けて高い。

米国の高校生は、「国の発展は自分の発展につながっている」の肯定率が日本に次いで低いが、「私は国のために尽くしたい」の肯定率が中国に次いで高い(図 3-7~11)。

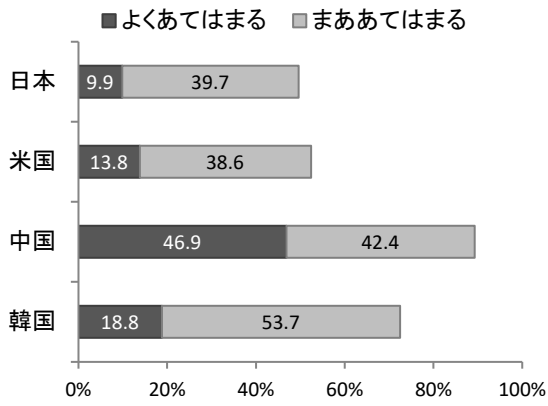


図 3-7 国の発展は自分の発展につながっている

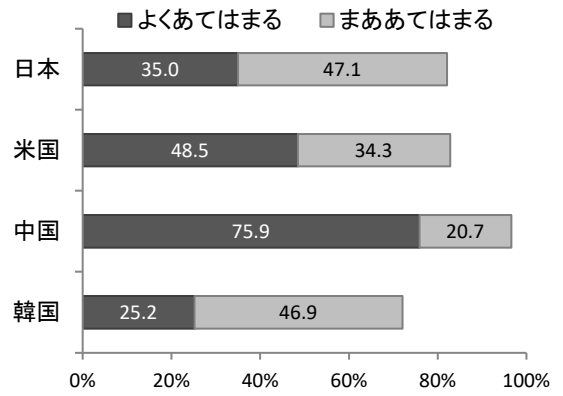


図 3-8 自分が日本(米国、中国、韓国)人であることに誇りをもっている

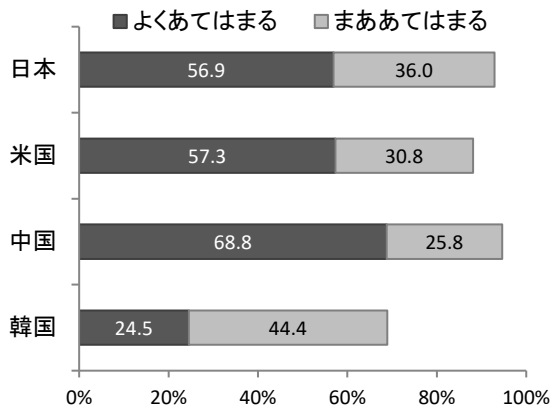


図 3-9 日本(米国、中国、韓国)で暮らすことに満足している

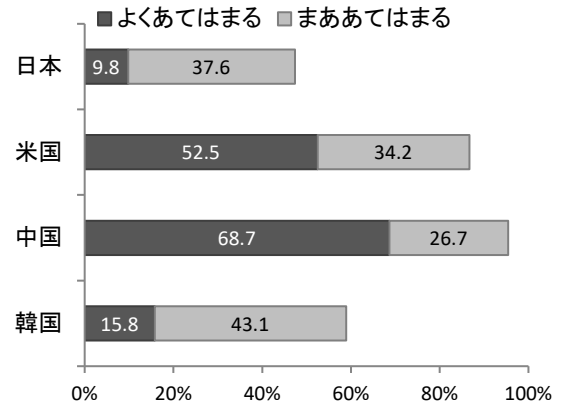


図 3-10 私は国のために尽くしたい

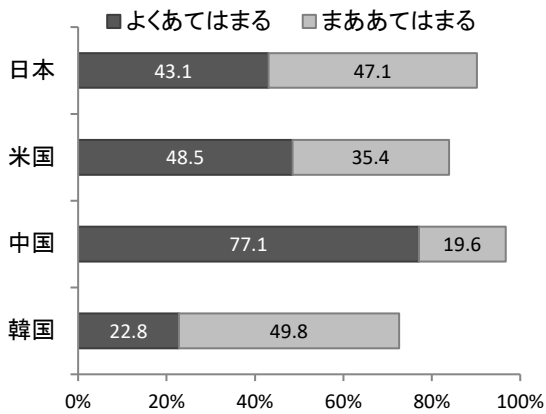


図 3-11 自分の国が好きだ